

平成27年度 第5回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成27年12月15日(火) 14:00~16:10
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 12名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 9名
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 平成27年度公民館定期講座実施状況・・・・・・・・・・ 資料1
(2) 平成27年度公民館まつり開催報告・・・・・・・・・・ 資料2
(3) 東京都公民館連絡協議会 職員部会・・・・・・・・・・ 資料3
(4) 東京都公民館連絡協議会 委員部会・・・・・・・・・・ 資料4
(5) 関ブロ報告書・・・・・・・・・・ 資料5
(6) 平成28年度公民館事業計画 概要・・・・・・・・・・ 資料6
(7) 平成27年度第4回小平市公民館運営審議会会議要録・・・・ 資料7
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 平成27年度 公民館定期講座実施状況について
(3) 平成27年度 公民館まつりについて
(4) 平成27年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告に
ついて
(5) 第56回関東甲信越静公民館研究大会兼第52回東京都公民館研究大
会について
(6) 平成28年度 公民館事業計画の概要について
(7) 諮問「市民が公民館事業に携わる公民館事業企画実行委員会の組織
及び運営のあり方について」について
(8) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 平成 26 年度決算の概要について

歳入…3,874,764 円（前年度比 2,011,658 円の減）

施設使用料、コピー機・印刷機使用料等

歳出…418,279,717 円

224,080,447 円【職員の人件費を除く】（前年度比 28,590,916 円の増）

嘱託職員報酬、講師謝礼、消耗品・修繕・光熱水費、施設管理業務委託費等

(2) 議会関係について

① 決算特別委員会について

10 月 15 日の決算特別委員会で平成 26 年度決算について審査が行われた。公民館に関しては、照明機器の省エネ化修繕の進捗状況、公民館事業の今後の方向性、地域センターとの統合・整理、施設使用料の見直しについて、市民学習奨励学習の実施状況、公民館における政治活動について、憲法講座における講師の選定についてなどの質問があった。

② 12 月市議会定例会について

11 月 30 日～12 月 21 日に、平成 27 年 12 月市議会定例会が開催され、12 月 1 日～3 日には一般質問があった。

・「人とまちを豊かに育む読書活動の推進について」

なかまちテラス LiNK S プロジェクトは、地域や公民館、学校との協働の場として進められているが、これまでの活動状況と今後の方向性について

(答弁) なかまちテラス開館の機運を盛り上げるために、昨年 8 月から、なかまちテラス LiNK S プロジェクトを立ち上げ、未来づくりワークショップなど多くの事業を実施してきた。プロジェクト終了後は、なかまちテラスの利用や活用について市民と職員が一緒に考え、実行していくなかまちテラス LiNK S を新たに立ちあげ、活動を継続している。今後も、なかまちテラスを活動の場として、地域の方々との連携を深め、生涯学習の振興と地域の活性化を図っていく。

・「地域センター等を公共施設予約システムで申し込み可能にしよう」

公共施設予約システムの仲町公民館の写真や施設の案内が、なかまちテラス開始から 8 か月たっても更新されないのはなぜか

(答弁) 仲町公民館の、写真を含む施設案内については、ご指摘を受けた後、先月下旬に更新した。

- ・12月9日の生活文教委員会では、小平市立公民館条例の一部を改正する条例(案)の審査が行われた。仲町公民館の休館日のうち月曜日を、毎月第3木曜日に改めるもので、全会一致で採択された。

(3) なかまちテラス関連について

- ・11月23日の祝日月曜日、なかまちテラスの外壁にイルミネーション飾りつけ点灯期間は11月23日から1月末日までで、点灯時間は午後5時から10時
- ・なかまちテラス学習室の修繕について
地下の学習室1について、今月末に壁に吸音ボードを設置して対応を図る。学習室2については、陶芸作品等を保管する棚を2月末までに新設する予定で検討している。
- ・なかまちテラスが外観から何の施設かわからないとの意見があることから、看板の設置について検討している。

(4) 旧仲町公民館解体工事について

12月から工事準備に取り掛かり、来年の3月中旬までに終了する予定である。
12月4日と6日に住民説明会を開催し、合わせて23人の参加者があった。跡地については、用地の北側については、村役場・公民館があった地として、用水路を活用した親水整備を行い、南側は保育施設として整備する方向で現在検討している。

(質疑応答)

- 委員 なかまちテラスの看板設置について、詳しく教えてほしい。
- 館長 外から見て公民館・図書館であることがわかるような看板の設置を考えている。まず、看板のイメージをなかまち癒しアートクラブに提案してもらい、それをなかまちテラスLiNK Sのメンバーでどういうものにするか検討している。現状の看板が小さいので、何の施設かわからないとの意見があるためである。
- 委員 なかまちテラスLiNK Sの全体会では、いろいろな意見が出ていた。その時に出た意見のほとんどは、なかまちテラスの建物が特色あるだけにスタイリッシュなイメージを壊さないデザインとし、それでいてわかりやすいものにしていただきたいというものが多かった。いつごろ設置を目標にされているのか。
- 館長 年度内を目標にしている。

会 長 それでは、外から見てわからないということが解消できるような看板を検討していただきたい。

委 員 私は、ランドマークという言葉があるように、形状とか、形そのものがメッセージ、つまり看板の効果があると考えます。当市には武蔵野美術大学もあるので、デザインのことも視野に入れてもいいと思う。今は迷う方もいるかも知れないが、そのうちあの形が「なかまちテラス」となるのではないかと。

委 員 設計者の方もそういうポリシーで造られたと聞いている。

会 長 そういう意見もあるということに合わせて検討していただきたい。

委 員 これから公共施設を造る時には、建築家優位ではなく利用者本位の、それぞれ社会教育・学校教育、使用用途に応じた機能という基本条件を満たした上でデザインを決めたほうがいい。

委 員 なかまちテラスは図書館の職員の方が多くて、公民館の職員の方が少ない。公民館のことを尋ねても答えをなかなか得られない不便さを感じるということを利用者の方から聞いたが、今後そのような声に何か考えているのか。

館 長 仲町公民館の職員については、検討中である。

委 員 学習室2と3の入口の鍵が下についていて、年配の人だと次の人が来るまで鍵を開けられないことがある。

館 長 窓口で職員に言ってもらえれば、すぐに開けに行くことになっている。

分館長 高齢の方も多いので、鍵を渡すときに声をかけてもらって、職員が一緒に行って開けている。そのような対応をしている。

会 長 恒常的な取り組みができるようであれば、検討していただきたい。

2 平成27年度 公民館定期講座実施状況について
事務局より資料1について説明した。

(質疑応答)

委 員 友・遊こどもまつりは、今年はどうなのか。

事 務 局 友・遊こどもまつりは、今年も9月に無事終わった。前庭でダブルダッチをやったところ、好評だった。来年度以降については、手作り感を出そうということので講演会の予算を付けずに行う予定である。

委 員 予算を全く付けないということで、完璧に手作りになってしまうのか。

事 務 局 その通りで、各分館については、公民館で活動しているサークルや、シルバー大学のOBの協力により、手作りのまつりを企画している。消耗品などの予算は、これまで通りとなる。

委 員 友・遊の運営委員はどんな方か。

事 務 局 委員は3名で、友・遊の設立当時から携わっている元公運審の方・八館会の役員の方、学校関係の方である。

会 長 予算なしがどうなのかと思った。運営委員会で決められたと理解していいか。

事 務 局 はい。運営委員会で提案され、公民館で決めた。

委 員 サークルフェアに参加したとき、友・遊まつりの手伝いをしてくれないかと依頼されたが、もし手伝う場合、自分たちが全部材料を用意するのか。

会 長 手作りのところが分かりにくかったので、例えば今年や去年の予算はいくらで、どの部分がなくなるのか、教えてほしい。

事 務 局 友・遊こどもまつりの予算は、講演会の講師謝礼として5万円である。その他には、消耗品の予算があるが、他の事業の予算と合算されているので、友・遊こどもまつりの予算としては把握していない。

委 員 提案だが、当日利用も始まり仲町公民館が月曜日開館ということで、「今日は休館中」とか「閉館中」とか短い言葉だけではなく、「どこの公民館ならやっていますよ」、「どこの公民館なら使えますよ」という案内を出していただけると本

当に困っている人は助かると思う。

委員 前回の審議会で質問した件について、どうなったか教えてほしい。講座の保育の時に台拭きで子どもの口や手を拭いていること、各自タオルを持ってきているのに、石鹸ではなく水で手洗いし、同じタオルで拭いていること。これからかぜの時期になるので確認することだったが。

事務局 保育者に対しては、保育園指導マニュアルを取り寄せて、その抜粋を、各保育者に配っている。タオルの使いまわしについては、やめるということで各保育者に徹底したところである。

委員 徹底してもらったのはいつか。

事務局 前回の審議会のあと、1週間から2週間で各保育者には伝わっているはずである。

委員 中央の保育に2回入ったが、その時も石鹸は使ってないし、タオルも使いまわしで、台拭きで口を拭いていた。徹底がされていないのではないかと思う。

事務局 再度保育者に対して徹底させたい。

委員 小川公民館のシニア講座で山楽会というサークルの方が講師をしているが、講師料の取り扱いはどうなっているのか。

分館長 講師謝礼として支払っている。

会長 市民でも大学教授でも同じということでもいいか。

分館長 今回の小川公民館のシニア講座では同じである。

委員 音楽祭について、実行委員会方式になった経緯について教えてほしい。

事務局 仙台で始まった市民音楽祭を参考に中央公民館での開催をきっかけとし、ゆくゆくは市内全域に広げていきたいと聞いている。前年度は中央公民館主催であったが、今後は実行委員会が主体となって進めて行くことになる。今後も公民館を使っているため、公民館は支援していく方向で考えている。

- 委員 公民館のあり方として、生涯学習的なものと市民が集まる場としての2つがある。音楽祭のような機会ではいろいろな方が来られると公民館が非常に身近な存在だと思う。公民館が主催する音楽会と実行委員会が主催する音楽祭を一本化するの難しいのか。一本化するの難しいのなら、予算も別にして別の日に開催すれば、時間的にも余裕ができる。来年もっと参加者が増えともう少し有効的に使える。中央公民館で開催することに意義があって、今後とも積極的に応援していただけるような形でご支援いただけると嬉しい。
- 事務局 公民館が支援する方向は変わらないが、会場を公民館は当然のことながら、市内の広場、たとえば福祉会館前の広場などに発展していく考えがあるように聞いている。来年度以降、公民館主催の音楽会と切り離すのも1つの選択肢と思っている。その方が音楽祭の時間が多くなって、より多くの方が出演できるのであれば、切り離す方向でも検討していく。
- 委員 実行委員長は一緒に開催してもらいたいようなことを言っていた。公民館運営審議会委員の立場から見てどうなんだろうかと問題提起した。
- 事務局 一緒にやっていくのも1つの方法ではあるが、バックアップの方がより実行委員会の決め方が自由になると考えられる。公民館の事業だと枠があるので、その枠を超えるには、実行委員会形式で行ったうえで公民館が支援するというのが一番いい方法だと考えている。
- 委員 3点伺う。まず、サークル化を達成するために何回以上開催すればできやすいのか。2点目は、家庭教育講座に参加して育児休業中に公民館と出会えたような方をうまく繋ぎとめるアイデアがあれば教えてほしい。3点目は、仲町公民館のサタデー講座で修了者が5人だったというのは、開始してから何かギャップがあったのかわかれば教えてほしい。今後の講座企画について何か課題なり学んだことがあれば合わせて教えてほしい。
- 分館長 サークル化については、アンケートからもっと長い回数で開催してほしかったという意見が多かった。
- 委員 回数ではなく、講座の中の雰囲気だと思う。聴講だけだと、受講生同士が話す機会がないので、ベビーダンスなど受講生同士が話す機会があれば、仲良くなって、サークル化に繋がると思う。

会 長 家庭教育講座を受講した方は、その後も地域で活躍する人が多い。ここにいる委員の皆さんのほとんどが家庭教育講座の受講生だと思うが、家庭教育講座は、地域デビュー的な役割が非常に大きいと思っている。

分館長 サタデー講座について、12人からスタートしたが、講座を受講して期待したものと違ったという人がいた。なかまちテラスならではの講座ということで図書館活用法というテーマにしたが、参加している方がほとんど仲町図書館を利用しており、最終回に調べ学習の成果発表というカリキュラムだったことから、受講者が難しいと感じたようだった。また、途中で怪我をして、後半出られなかった方もいて、いろいろな条件が重なったと推測している。

委 員 中央公民館の青年教室講座の夜間で「大学生のための就活に勝つ」があるが、こちらの方も定員が20名のところ応募が6名受講6名と少ない。これこそまさに若い世代、公民館に取り込みたい世代に対しての講座というものだと思うが、このような結果だったことに対して、どのように考えているか。

事務局 確かに20名のところ、6名と少ない状況だった。これについては、青年教室において、若者がどうしても公民館に来ないという実態がある中で、来ていただくことを工夫し、今回は就活という実践的なものを考えたが難しかった。原因の分析としては、大学で既に就活のさまざまなノウハウを教えているということなので、敢えて、公民館の講座に来る気にならなかったのではないかと推測している。

館 長 もう1点が大学生だけを対象にしてしまったということも原因と考えている。

委 員 PRの仕方というのもあると思う。今までどおりのチラシや市報だけでなく、SNSを使った募集方法とか、PRの仕方とかタイトルとかを工夫したりするともう少し食いついたりするのではないかと思う。

事務局 この講座のチラシを多摩地区の各大学に持っていった。また、SNSではないが、メールで発信している。視点というか、企画が少しずれたのではないかと分析している。

委 員 逆に6人の方の感想はどうか。

事務局 6人の方は就活に対してかなり悩んでいる方だったので、面談の仕方などは役に立ったと聞いている。

委員 私はこのテーマは必要だったと思う。大学でなかなか受けられない大学生もいると聞いているので、公民館でこのようなテーマがあるのは有意義なことだと思う。今回は内容についての目標設定と講師のマッチングがうまくいかなかったのが原因だと思う。

会長 今後、分析していただいて、大学とともに取り組むなど対象者のニーズ把握を十分にやっていただきたい。

委員 チラシの効果はそんなに大きくないと思う。どちらかという顔つながりなので、企画の段階から大学と連携をとって、大学のできないところを公民館でやる。企画から大学と一緒に作っていくと大分違うと思う。

会長 公民館が支援したいものと公民館に支援してもらいたいものとがずれているように感じる。例えば、友・遊まつりについては、公民館の予算を使って珍しい人を呼んでほしいと思っても、運営委員会に任せる。枠にとらわれない音楽祭がいいと実行委員会に任せる。音楽祭についてはむしろ企画の段階で支援してほしいと実行委員会は思っているのではないか。一緒にやっていくというが、「一緒に」の意味が市民の方と職員の方とで違うという印象を受けたので、意見を参考にしてもらえたらありがたい。

3 平成 27 年度公民館まつりについて 資料 2 について説明した。

(質疑応答)

委員 大道芸が終わったあと、客席を帽子を持って「お金をください。」と回っていた。大道芸の方はいつものことだと思うが、公民館では違和感を覚えた。依頼時に公民館では控えるよう一言付け足していただいたほうがいい。

分館長 今後は気をつける。

4 平成 27 年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告について 事務局、委員より、資料 3 及び 4 について説明した。

5 第 56 回関東甲信越静公民館研究大会兼第 52 回東京都公民館研究大会について

会長より資料5について報告した。

- 6 平成28年度 小平市立公民館事業計画の概要について
事務局より資料6について報告した。

(質疑応答)

会 長 次回1月にこれについて検討して、その内容を反映させて、3月におおよそ完成という流れで進めていただければと思う。鈴木公民館だけ説明してほしい。

事 務 局 今年度鈴木公民館が事業企画委員会を実施して、委員会の中で決めた講座ということで、特にこれまでの区分を設けることなく、独自の区分で記載した。

委 員 仲町公民館について、昨年度1年かけてなかまちテラスを中心とした地域の人たちが集まって、たくさんの意見が出た。その内容は反映されているのか。

事 務 局 仲町公民館の講座に提案があれば考慮するが、現段階では具体的な提案がないのでここに載っていない。公運審に事業計画を示す3月までに提案があれば追加を考えている。また、予算は現行予算の範囲内で考えている。

委 員 なかまちテラスにおいても事業企画委員会のようなものがあって、なかまちテラスをきちんと考えてくれる場が必要なのではないかと思っているが、どう考えているか。

事 務 局 なかまちテラスで出された仲町公民館についての提案は、積極的に取り入れる方向で考えている。

委 員 地域防災計画に沿った避難所マニュアルを作る学習として市内の小学校と一緒にできたらいいと思う。

事 務 局 そういった要望があれば実施することも可能である。

会 長 避難所マニュアルを公民館でも自主的に作成する予定はあるのか。

事 務 局 避難所マニュアルは行政が作るのではなく、市民の方が作っていくものと聞いている。公民館が支援することはできる。

会 長 16 ミリ映写機操作講習会がなくなるということだが、社会教育の一番最初が16 ミリ映写機を使った映画会だったので、映写機は捨てないで保存するなり、何か活かすようなことを考えていただきたい。

7 諮問「市民が公民館事業に携わる公民館事業企画実行委員会の組織及び運営のあり方について」について
会長より資料6について説明した。

(質疑応答)

会 長 モデル館があれば教えていただきたい。

事 務 局 27 年度は小川公民館が 2 館目のモデル館の予定である。

分 館 長 メンバーもほぼ揃ってきて、来年第 1 回の会議を持ちたいと思う。できれば来年 3 月までに全体会をもって、新年度 4 月か 5 月にある程度の形をつくっていききたい。

事 務 局 構成メンバーとしては、自治会、自主防災組織、小平一小、小平五中、放課後子ども教室コーディネーター、青少年対策地区委員、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、白梅幼稚園、高齢クラブ、商店会、利用者懇談会、以上から 13 名を予定している。

会 長 答申についてはこのような内容で 1 月に提出したいと思う。個別にある場合にはまた、ご連絡いただきたい。

8 その他

事務局より

施設整備について、チラシの配置については、ペットボトルの再利用などで鋭意努力している。また、プロジェクターについては予算によるが順次配備していく。

次回は、1 月 12 日（火）午後 2 時より、中央公民館会議室にて開催する。